

### 3 放流用人工種苗の保菌検査

中城 岳・石川 徹

#### (1) 目的

アユの放流用人工種苗には、天然アユ資源のへい死被害防止のため、疾病の原因菌を保菌していないことが求められる。そこで、県産人工種苗「土佐のあゆ」の安全性を確保するため、細菌性冷水病（以下、冷水病）及びエドワジエラ・イクタルリ感染症の原因菌の保菌検査を実施した。

#### (2) 材料と方法

全生産群 8 池について、放流前に 1 池あたり 60 尾を無作為抽出し、10 尾ずつを 1 ロットとして 1 池あたり 6 ロット、合計 48 ロットについて、冷水病及びエドワジエラ・イクタルリ感染症の原因菌の保菌検査を実施した。なお、検査手法は「アユ疾病に関する防疫指針（アユ疾病対策協議会，平成 23 年 12 月）」に従った。

#### (3) 結果と考察

保菌検査を実施したロットのいずれからでも、冷水病菌及びエドワジエラ・イクタルリ感染症の原因菌は検出されなかった。

#### 文献

アユ疾病に関する防疫指針. アユ疾病対策協議会 2011